

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	図書館奉仕事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	07	02	01
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	図書館利用者	意図	気軽に利用され、満足いただけるサービスを提供できる図書館になる。
事業内容	図書館資料の収集、閲覧、貸出、読書相談、予約サービス、相互貸借及び読書普及を目的とした各種講座や集会活動の開催等の事業を実施する。また、来館できない高齢者などに、宅配のサービスを実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	中央館、地域館2館、分館4館（おおたかの森こども図書館含む）とおおたかの森市民窓口センター内図書館予約資料の受渡し業務を実施し図書館業務を行っている。駅の返却ボックスは、10か所を実施。平成29年3月に「流山子ども読書活動推進計画」が策定された。高齢者の利用者増により毎年宅配の利用が増加している。おおたかの森地区のすべての業務が増加している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	利用者数	322,063	327,522	317,982	人	↑↑↑
②	貸出冊数	1,140,302	1,170,900	1,146,669	冊	↑↑↑	
③	月曜開館利用者数	3,551	3,595	3,256	人	↑↑↑	
④	宅配サービス利用冊数	532	553	612	冊	↑↑↑	
⑤	各種事業への参加者	12,418	16,566	17,547	人	↑↑↑	
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ①返却ボックス利用（1.9%増） ②おおたかの森窓口センターブックアップサービス利用者数（1%増） ③おおたかの森窓口センターブックアップサービス貸出数（2.7%増） ④おおたかの森駅図書返却ボックス利用（4.8%増） ・平成30年度は、電算更新のため休館、またエレベーター更新工事を実施したため事務事業の実績指数が減少している。 ・おおたかの森地区の人口増加によりおおたかの森地区のすべての業務が増加している。
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	79,416,909	82,049,600	72,258,436				
事業費(b)(円)	34,297,959	37,010,400	37,754,906				
うち一般財源	34,297,959	37,010,400	37,754,906				
職員給与と費(c)(円)	45,118,950	45,039,200	34,503,530				
人役・職員(人)	4.55	4.55	1.80				
人役・再任用(人)	1.90	2.10	3.45				
人役・臨職(人)	6.30	6.40	10.51				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	開館日・開館時間を条例改正されたとおりに実施する。計画的に事業を展開する。	③取組における課題(Check)	おおたかの森窓口センターのブックアップサービスの増加、各駅の返却本の増加など事務処理量が年々増加している。この問題を解消するため、職員の確保をしなければならない。
②H30に実施した取組(Do)	毎年行っている集会事業に加え「開館40周年記念事業」を行い参加者が昨年より大幅に増加した。7・8月の月末および12月28日を臨時開館した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	多様化する市民ニーズに応えられる事業の展開をするため指定管理者、分館業務委託者と協力し対応していく。